

第 I 部 総 論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、平成27年3月末現在で93.8%（総人口5,082千人に対して給水人口4,767千人）となっており、未給水人口は315千人となっています。

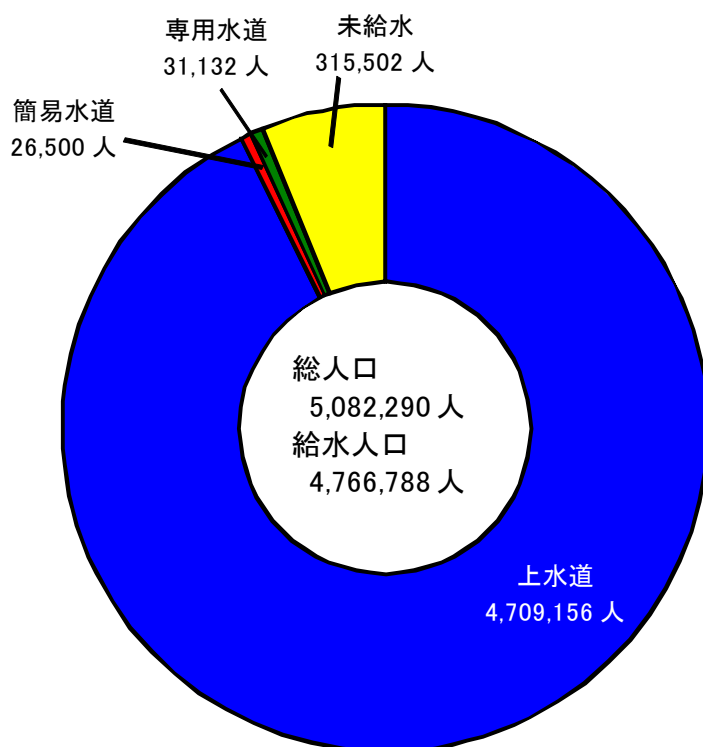
広域圏別の水道普及率は、福岡地区が96.2%と最も高く、次いで北九州地区が95.9%、筑豊地区が95.3%、筑後地区が83.4%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4,709千人（98.7%）と最も多く、次いで専用水道が31千人（0.7%）、簡易水道が27千人（0.6%）となっています。

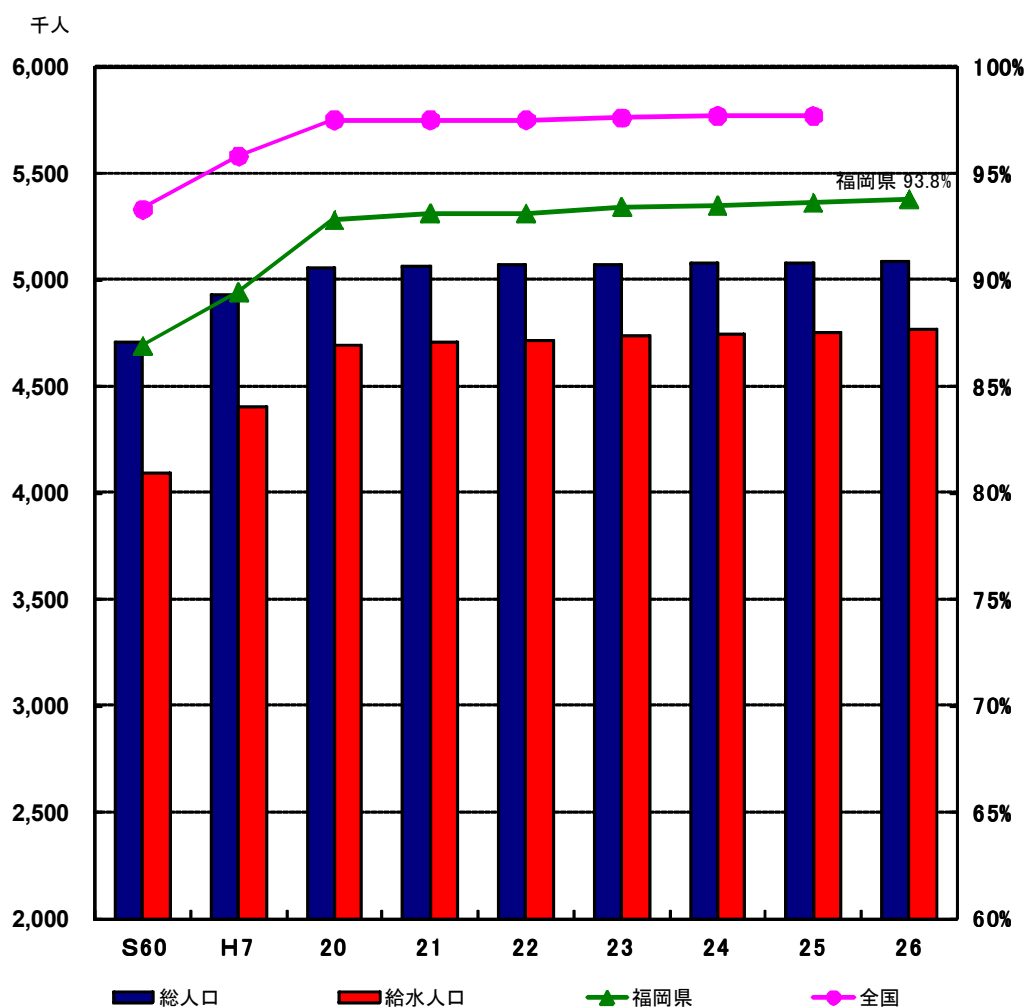
◎ 現在給水人口と普及率（平成27年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口 (人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,488,114	2,393,222	2,374,158	1,907	17,157	96.2%
北九州	1,279,115	1,227,150	1,216,767	8,740	1,643	95.9%
筑後	897,386	748,195	729,060	9,941	9,194	83.4%
筑豊	417,675	398,221	389,171	5,912	3,138	95.3%
県計	5,082,290	4,766,788	4,709,156	26,500	31,132	93.8%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



	S60	H7	20	21	22	23	24	25	26	
本県の総人口 (千人)	4,708	4,926	5,053	5,060	5,067	5,072	5,076	5,081	5,082	
本県の給水人口 (千人)	4,090	4,404	4,691	4,710	4,716	4,737	4,744	4,755	4,767	
普及率	福岡県	86.9%	89.4%	92.8%	93.1%	93.1%	93.4%	93.5%	93.6%	93.8%
	全国	93.3%	95.8%	97.5%	97.5%	97.5%	97.6%	97.7%	97.7%	-

※本資料作成時点で、全国の平成26年度値は未公表

2 給水の状況

(1) 年間給水量

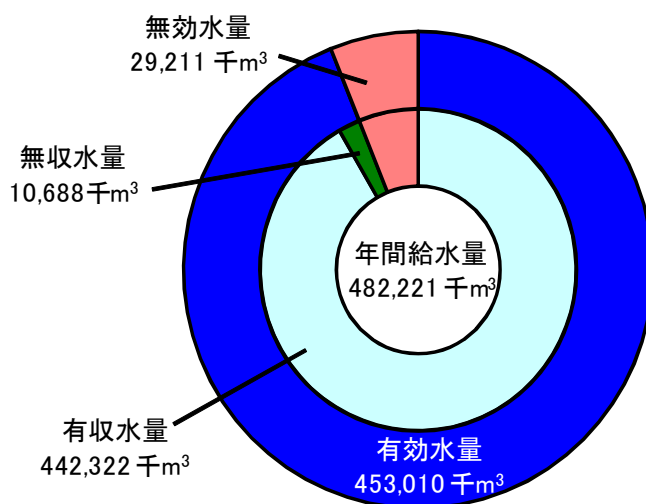
平成 26年度の年間給水量は 482,221 千 m³となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.4%)。なお、年間給水量は前年度から 6,606 千 m³減少しています。

また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率)は 93.9%となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

(単位:千m³)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	223,344	216,082	213,011	3,071	7,262	96.7%	95.4%
	北九州	135,349	125,231	121,922	3,309	10,118	92.5%	90.1%
	筑後	72,638	67,963	65,175	2,788	4,675	93.6%	89.7%
	筑豊	47,988	41,432	39,960	1,472	6,556	86.3%	83.3%
	計	479,319	450,708	440,068	10,640	28,611	94.0%	91.8%
簡易水道	福岡	178	159	158	1	19	89.3%	88.8%
	北九州	697	638	629	9	59	91.5%	90.2%
	筑後	1,244	1,012	982	30	232	81.4%	78.9%
	筑豊	783	493	485	8	290	63.0%	61.9%
	計	2,902	2,302	2,254	48	600	79.3%	77.7%
合計		482,221	453,010	442,322	10,688	29,211	93.9%	91.7%



- 年間給水量 : 水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量 (有効水量+無効水量)
- 有効水量 : 水道の使用上有効とされた水量 (有収水量+無収水量)
- 有収水量 : 料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量 : 料金徴収の対象とならなかった水量 (管洗浄用、公衆便所用等)
- 無効水量 : 水道の使用上無効とされた水量 (配水管からの漏水等)

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 352,642 千 m³、業務・営業用が 76,478 千 m³、工場用が 8,972 千 m³、その他が 1,976 千 m³となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m³)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	171,648	40,192	630	541	213,011
北九州	96,733	20,348	4,056	785	121,922
筑後	52,488	10,265	1,907	515	65,175
筑豊	31,773	5,673	2,379	135	39,960
計	352,642	76,478	8,972	1,976	440,068
構成比率	80.1%	17.4%	2.0%	0.4%	100.0%

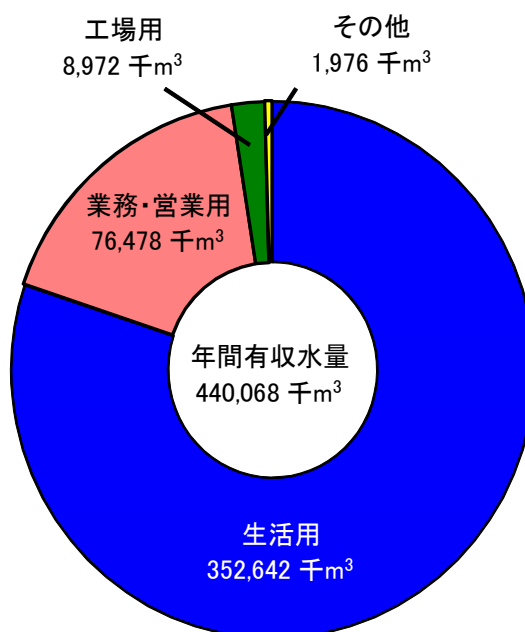
※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用等

工場用：工場用

その他：水道事業所用水、水道メーター不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

平成 26 年度において一日平均給水量 1,321 千 m³、一日最大給水量は 1,477 千 m³と
なっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 279 リットル、最大給水量が 312 リットルとなっており、
広域圏別にみると、筑豊地区及び北九州地区が他の地区より多くなっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m ³)	一人一日 (ℓ)	日最大 (m ³)	一人一日 (ℓ)
福岡	上水道	611,901	258	669,699	282
	簡易水道	487	255	802	421
	計	612,388	258	670,501	282
北九州	上水道	370,819	305	406,699	334
	簡易水道	1,911	219	2,201	252
	計	372,730	304	408,900	334
筑後	上水道	199,008	273	233,057	320
	簡易水道	3,407	343	4,243	427
	計	202,415	274	237,300	321
筑豊	上水道	131,474	338	157,769	405
	簡易水道	2,144	363	2,795	473
	計	133,618	338	160,564	406
県計	上水道	1,313,202	279	1,467,224	312
	簡易水道	7,949	300	10,041	379
	計	1,321,151	279	1,477,265	312
全国	上水道	-	336	-	384

○ 平均給水量

- ・ 日平均：年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・ 一人一日：日平均給水量 ÷ 給水人口

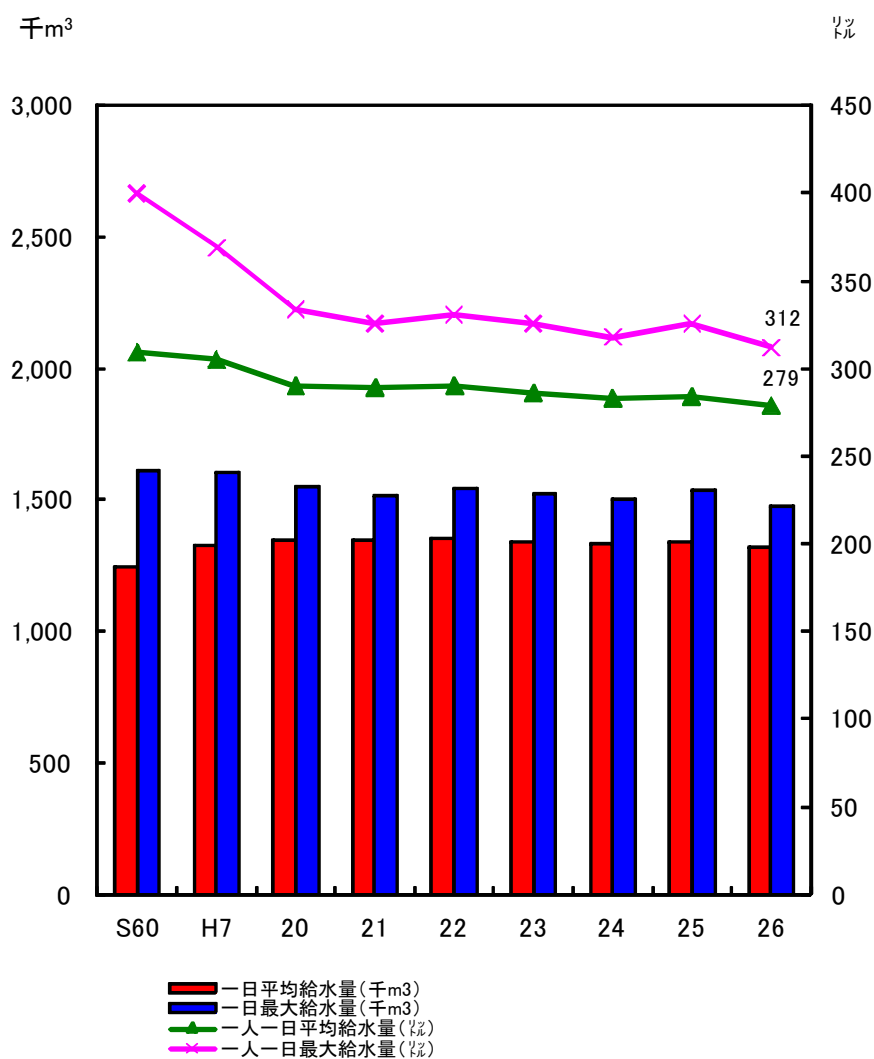
○ 最大給水量

- ・ 日最大：水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一人一日：日最大給水量 ÷ 給水人口

※ 全国は平成 25 年度末の値(本資料作成時点で平成 26 年度値は未公表)

また、一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量は、近年ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



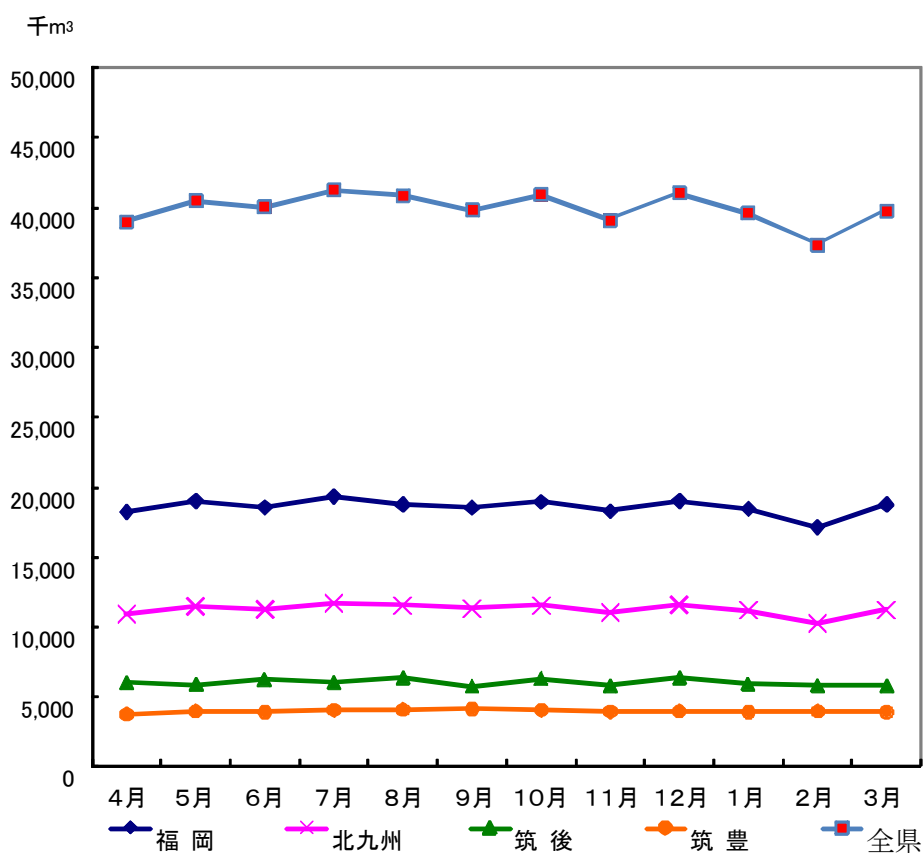
区分 \ 年度	S60	H7	20	21	22	23	24	25	26
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,348	1,347	1,357	1,341	1,333	1,339	1,321
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,552	1,520	1,546	1,527	1,500	1,540	1,477
一人一日平均給水量(%)	309	305	290	289	290	286	283	284	279
一人一日最大給水量(%)	400	369	334	326	331	326	318	326	312

(4) 月別給水量

平成26年度の上水道事業における月別給水量の最大値は7月の41,272千m³であり、最小値は2月の37,347千m³となっています。

広域圏別にみると、福岡地区の最大値は7月の19,383千m³、最小値は2月の17,174千m³、北九州地区の最大値は7月の11,740千m³、最小値は2月の10,319千m³、筑後地区の最大値は8月の6,408千m³、最小値は9月の5,799千m³、筑豊地区の最大値は9月の4,152千m³、最小値は4月の3,782千m³となっています。

◎ 月別給水量(上水道)



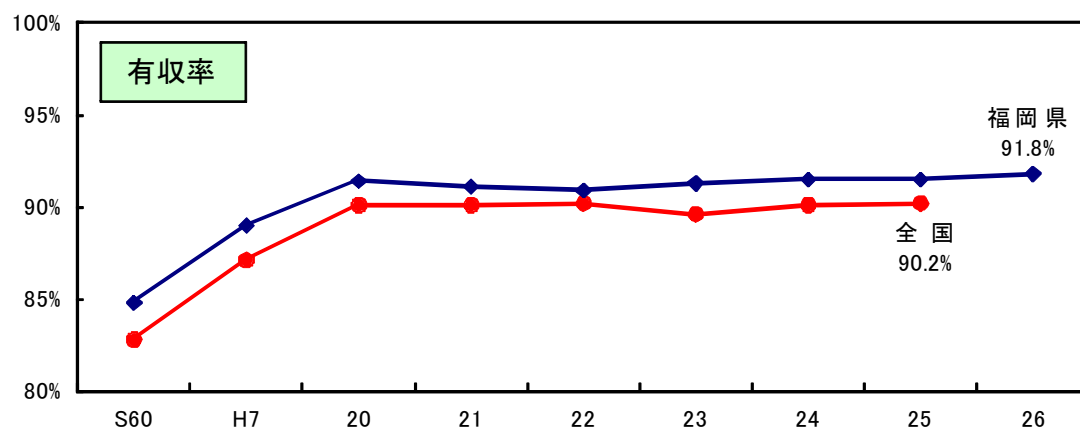
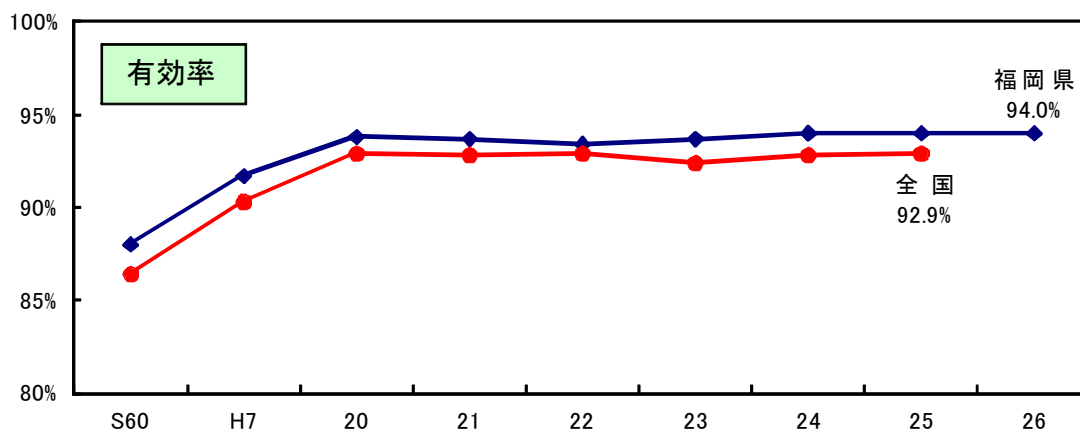
(単位:千m³)

広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,259	19,050	18,603	19,383	18,778	18,544	18,971	18,305	19,038	18,480	17,174	18,759	223,344
北九州	10,957	11,529	11,248	11,740	11,572	11,347	11,572	11,032	11,586	11,210	10,319	11,237	135,349
筑後	6,023	5,905	6,261	6,059	6,408	5,799	6,321	5,831	6,399	5,953	5,856	5,823	72,638
筑豊	3,782	4,007	3,930	4,090	4,116	4,152	4,068	3,968	4,004	3,942	3,998	3,931	47,988
計	39,021	40,491	40,042	41,272	40,874	39,842	40,932	39,136	41,027	39,585	37,347	39,750	479,319

(5) 有効率、有収率

上水道事業における平成 26年度の有効率は 94.0%、有収率は 91.8%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	20	21	22	23	24	25	26
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.8%	93.7%	93.4%	93.7%	94.0%	94.0%	94.0%
	全国	86.4%	90.3%	92.9%	92.8%	92.9%	92.4%	92.8%	92.9%	-
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	91.4%	91.1%	90.9%	91.3%	91.5%	91.5%	91.8%
	全国	82.8%	87.1%	90.1%	90.1%	90.2%	89.6%	90.1%	90.2%	-

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

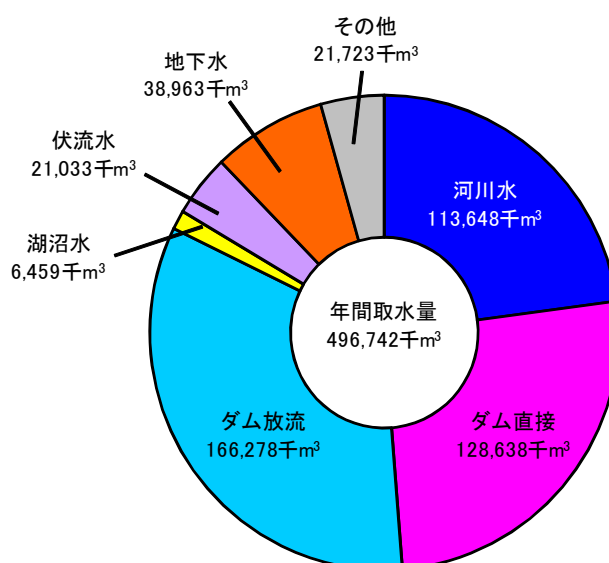
○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の平成 26 年度値は未公表

3 取水の状況

平成 26 年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて 496,742 千 m³ で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(83.5%)。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位:千m³)

年 度	S60	H7	20	21	22	23	24	25	26
河 川 水	116,791	163,039	122,391	138,897	132,788	118,090	128,986	120,143	113,648
ダ ム 直 接	131,761	113,409	118,869	104,626	116,002	126,879	107,876	115,216	128,638
ダ ム 放 流	134,891	120,667	164,168	167,802	146,689	157,447	161,330	176,168	166,278
湖 沼 水	5,537	7,981	7,715	7,498	7,425	7,229	7,431	6,681	6,459
伏 流 水	22,736	24,389	18,056	20,063	21,563	20,002	21,715	22,729	21,033
地 下 水	47,998	56,701	47,532	48,137	50,275	49,002	46,449	39,794	38,963
そ の 他	1,003	1,429	25,765	26,959	29,995	15,011	27,287	15,399	21,723
(海水淡水化)	-	-	(25,205)	(26,183)	(29,209)	(14,208)	(26,540)	(14,597)	(20,905)
計	460,717	487,615	529,701	513,982	504,737	493,660	501,074	496,130	496,742

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成18年度以降)

4 財務の状況

(1) 総収益と総費用

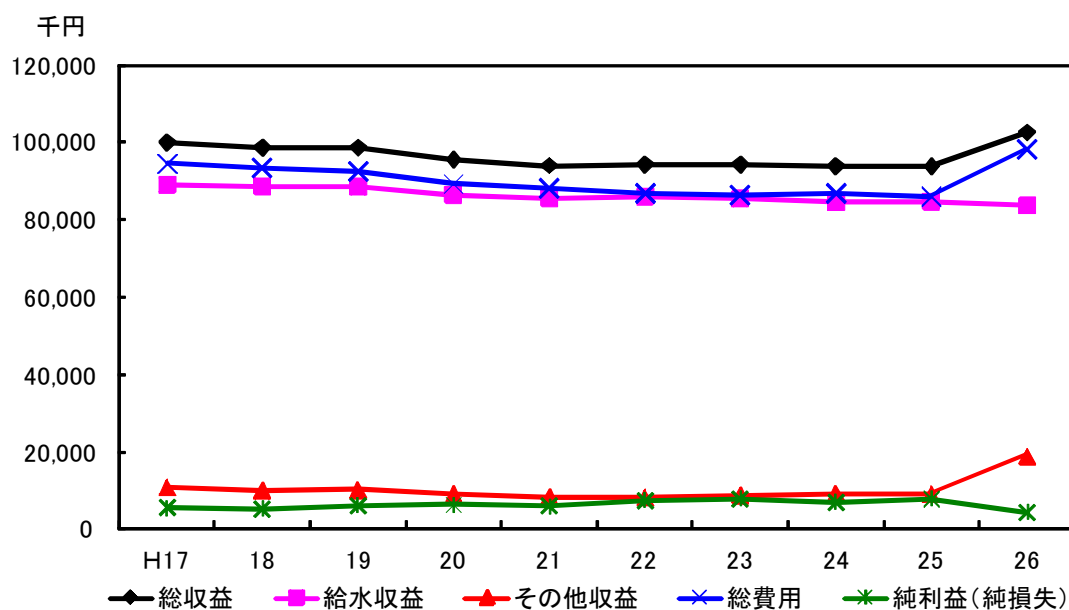
平成 26 年度における上水道事業の総収益は 1,027 億円となっており、前年度から 89 億円増加しています。また、総費用は 983 億円となっており、前年度から 124 億円増加しています。

なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は 44 億円となっており、前年度から 35 億 5 千万円減少しています。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:千円)

年 度	総 収 益 (A)		総 費 用 (B)	純 利 益 (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
H17	100,047,167	89,247,728	94,507,398	5,539,769
18	98,795,941	88,664,781	93,537,038	5,258,903
19	98,824,166	88,573,973	92,608,199	6,215,967
20	95,636,195	86,497,671	89,317,396	6,318,799
21	94,048,911	85,699,480	88,084,623	5,964,288
22	94,376,472	86,197,403	86,888,804	7,487,668
23	94,415,833	85,491,831	86,423,294	7,992,539
24	93,967,231	84,698,569	86,907,512	7,059,719
25	93,839,680	84,873,833	85,887,029	7,952,651
26	102,736,917	83,751,903	98,336,934	4,399,983



(2) 費用構成

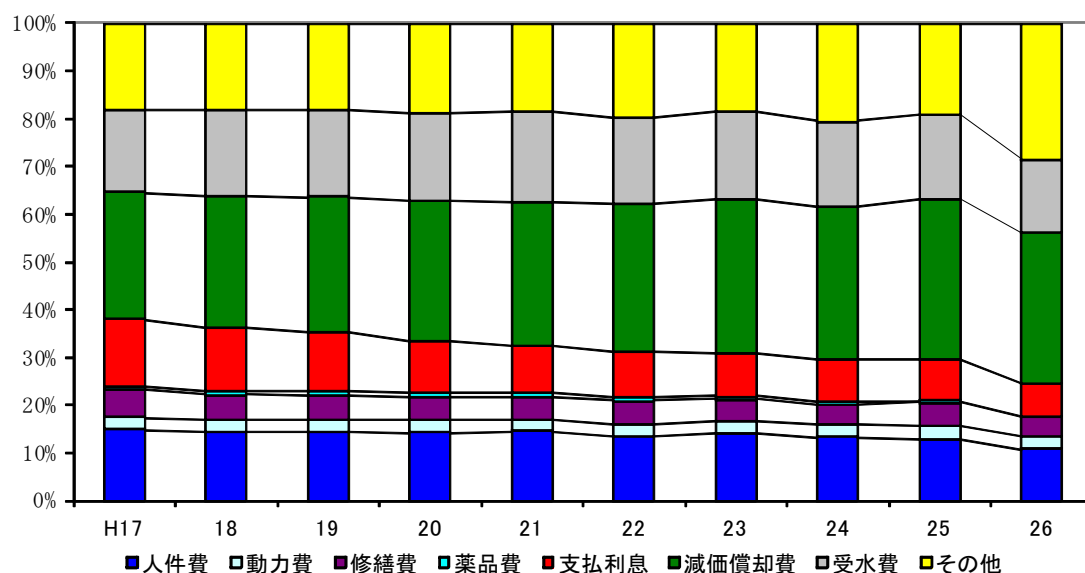
平成 26 年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費がその約半分を占めています。

また、減価償却費は増加傾向に、支払利息は減少傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:千円)

年 度	H17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
人件費	14,004,073 (15.0%)	13,473,489 (14.5%)	13,326,208 (14.5%)	12,674,745 (14.3%)	12,753,005 (14.6%)	11,583,672 (13.4%)	12,163,184 (14.2%)	11,586,512 (13.3%)	10,918,837 (12.8%)	10,572,446 (10.8%)
動力費	2,249,976 (2.4%)	2,095,249 (2.3%)	2,194,508 (2.4%)	2,216,800 (2.5%)	2,135,244 (2.4%)	2,128,387 (2.5%)	2,151,859 (2.5%)	2,247,557 (2.6%)	2,456,538 (2.9%)	2,515,888 (2.6%)
修繕費	5,481,056 (5.9%)	4,894,972 (5.3%)	4,668,713 (5.1%)	4,229,611 (4.8%)	4,031,509 (4.6%)	4,172,701 (4.8%)	3,728,859 (4.4%)	3,593,901 (4.1%)	4,046,637 (4.8%)	4,029,054 (4.1%)
薬品費	694,760 (0.7%)	639,946 (0.7%)	711,474 (0.8%)	688,817 (0.8%)	847,235 (1.0%)	823,165 (1.0%)	652,646 (0.8%)	628,482 (0.7%)	639,937 (0.8%)	564,837 (0.6%)
支払利息	13,078,195 (14.0%)	12,408,242 (13.4%)	11,540,718 (12.6%)	9,559,580 (10.8%)	8,570,961 (9.8%)	8,201,306 (9.5%)	7,854,700 (9.2%)	7,551,342 (8.7%)	7,219,461 (8.5%)	6,832,256 (7.0%)
減価償却費	24,876,796 (26.6%)	25,536,256 (27.6%)	25,935,327 (28.3%)	26,095,868 (29.5%)	26,235,553 (30.1%)	26,946,549 (31.2%)	27,436,205 (32.1%)	27,973,733 (32.2%)	28,588,867 (33.6%)	30,584,689 (31.3%)
受水費	16,120,921 (17.3%)	16,761,061 (18.1%)	16,636,838 (18.1%)	16,317,695 (18.5%)	16,449,304 (18.9%)	15,330,453 (17.8%)	15,679,005 (18.3%)	15,404,023 (17.7%)	14,841,081 (17.4%)	14,845,990 (15.2%)
その他	16,916,950 (18.1%)	16,879,258 (18.2%)	16,720,923 (18.2%)	16,656,167 (18.8%)	16,202,508 (18.6%)	17,113,673 (19.8%)	15,910,362 (18.6%)	17,910,553 (20.6%)	16,389,179 (19.3%)	27,773,301 (28.4%)
計	93,422,727 (100.0%)	92,688,473 (100.0%)	91,734,709 (100.0%)	88,439,283 (100.0%)	87,225,319 (100.0%)	86,299,906 (100.0%)	85,576,820 (100.0%)	86,896,103 (100.0%)	85,100,537 (100.0%)	97,718,461 (100.0%)



5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

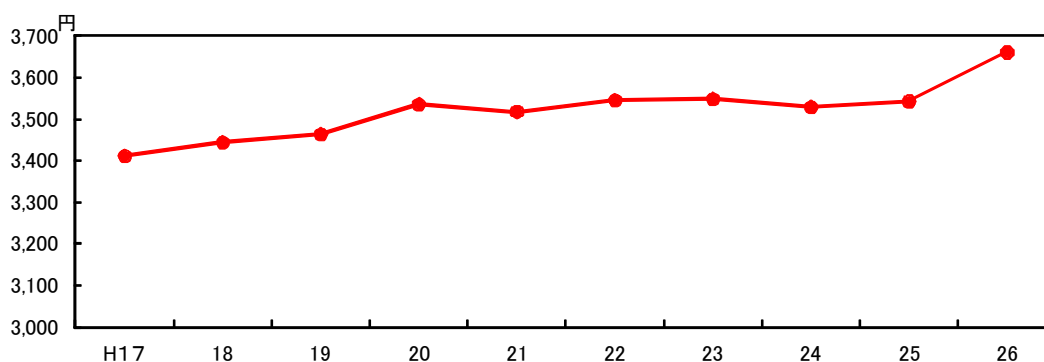
平成27年3月末現在において、家庭用1ヶ月20 m³の水を使用した際の料金は下記の表のとおりで、3,500円以上4,000円未満としている事業者が最も多く、県平均は3,661円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月20 m³当たりの水道料金（上水道）

（平成27年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	4
2,500円以上～3,000円未満	6
3,000円以上～3,500円未満	7
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	11
4,500円以上	4

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20 m³当たり）



（単位：円）

年度	H17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
福岡県	3,412	3,444	3,464	3,536	3,518	3,546	3,549	3,529	3,543	3,661

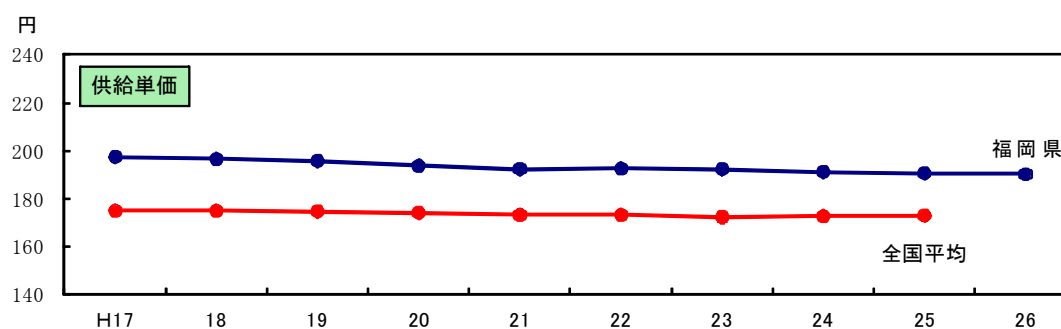
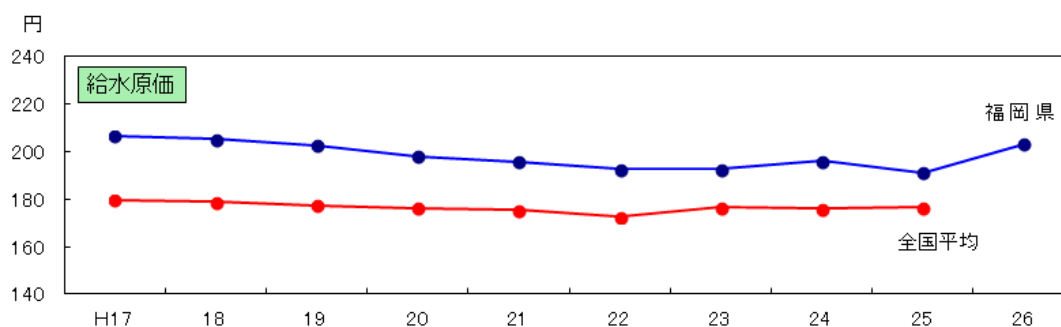
※ 基礎料金・メーター使用料を含む
 全国平均（平成25年度）：3,098円

6 給水原価と供給単価（上水道）

平成 26 年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 203.39 円/m³ 及び 190.32 円/m³ となっています。

また、いずれも近年で全国平均を上回っており、横ばいから減少傾向を示していましたが、給水原価については、増加しています。

◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m³)

年度		H17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
給水原価	福岡県	206.78	205.62	202.89	198.17	195.97	192.86	192.62	196.36	191.35	203.39
	全国平均	179.74	178.83	177.45	176.35	175.47	172.65	176.78	176.26	176.51	未公表
供給単価	福岡県	197.54	196.69	195.90	193.82	192.54	192.64	192.43	191.39	190.84	190.32
	全国平均	175.21	175.20	174.78	174.31	173.51	173.46	172.47	172.95	173.12	未公表

○ 給水原価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の平成 26 年度値は未公表